

## 指定シンポジウム7

CST実施におけるボトルネックの解消法を探る part 6

# CSTにおける情報管理と倫理審査

関西医科大学 北田容章

# CSTにおける情報管理と倫理審査

本講演のスライドは、以下のHPからダウンロード可能です：

<https://www7.kmu.ac.jp/kmucca/>

Google検索で「関西医大」「解剖」から「解剖学」を選択、  
そこから臨床解剖教育研究センターのHPへ飛んで下さい

演題発表に関連し、発表者らに開示すべき  
利益相反関係にある企業などはありません

# 本講演の全体の流れ

---

- 不適切な情報管理に起因すると思われる事案
- 不適切な事案発生を情報管理の点からどうやって防ぐか？
- 個人識別等の具体例
- 解剖学教室で扱う情報
- 「献体の意志」の反映
- クラウドストレージのセキュリティは大丈夫か？
- クラウドストレージ(OneDrive)の使い方
  - (おすすめでできない例・おすすめの例)
- 倫理審査と情報公開文書、そしてオプトアウト
- 成果物という情報の取り扱い

# 不適切な情報管理に起因すると思われる事案

○北海道大学歯学部の例(令和元年8月30日、大学HPより)

<https://www.den.hokudai.ac.jp/5137>

- ・ご遺体の取り違え
- ・ご遺族による火葬時の指摘で発覚
- ・担当技術教員と担当職員の連絡ミス、担当教員の手順履行ミス

○兵庫医科大学医学部の例(令和3年11月25日、大学HPより)

<https://www.hyo-med.ac.jp/news/44/>

- ・ご遺骨返還漏れ
- ・ご遺族からの問い合わせで発覚
- ・担当技術職員の退職に伴う引き継ぎミス、複数名でのチェック機構欠如

○島根大学医学部の例(令和4年7月19日、大学HPより)

<https://www.shimane-u.ac.jp/docs/2022071900025/>

- ・ご遺体の不適切な取扱い(搬入後未処置にて放置)、ご遺体の取り違え
- ・解剖学担当教授が発見・通報
- ・遗体管理は技術職員1名のみで担当、技術職員増員要求への大学側の未対応

→ 不適切な事案発生を情報管理の点からどうやって防ぐか？

# 事案からの学び

## ○北海道大学歯学部の場合(調査結果概要(含再発防止策) A4・1枚)

マニュアルの整備、教職員の意識改革、監督体制の強化、より確実な確認手法の検討

## ○兵庫医科大学の場合(詳細資料(含再発防止策) A4・2枚)

- 1.業務の複線化、確実な引き継ぎ、上司による進捗管理徹底
- 2.献体情報と遺骨管理状況の定期的確認
- 3.倫理観・責任感の醸成、定期的教育研修による組織的意識改革

## ○島根大学医学部の場合(調査結果報告書 A4・19枚、再発防止策 A4・11枚)

### 1.献体管理委員会の設置

複数体制での目視チェック、解剖学教室と事務部の定例ミーティング

- 2.業務分担の明確化、マニュアル・フローチャートの作成
- 3.医学部長への報告体制構築
- 4.チェックリストや個体識別による献体情報管理の徹底
- 5.担当職員の補充
- 6.担当職員の精神面や業務上の支援・管理・負担軽減措置体制構築
- 7.返骨関連情報の拡充
- 8.医学部全体の意識改革
- 9.命日におけるご遺族への遺体状況のお知らせ

# 事案からの学び

○北海道大学歯学部の場合(調査結果概要(含再発防止策) A4・1枚)

マニュアルの整備、教職員の意識改革、監督体制の強化、より確実な確認手法の検討

○兵庫医科大学の場合(詳細資料(含再発防止策) A4・2枚)

1. 業務の複線化、確実な引き継ぎ、上司による進捗管理徹底
2. 献体情報と遺骨管理状況の定期的確認
3. 倫理観・責任感の醸成、定期的教育研修による組織的意識改革

職員の補充

複数体制

○島根大学医学部の場合(調査結果報告書 A4・19枚、再発防止策 A4・11枚)

1. 献体管理委員会の設置  
複数体制での目視チェック、解剖学教室と事務部の定例ミーティング
2. 業務分担の明確化、マニュアル・フローチャートの作成
3. 医学部長への報告体制構築
4. チェックリストや個体識別による献体情報管理の徹底
5. 担当職員の補充
6. 担当職員の精神面や業務上の支援・管理・負担軽減措置体制構築
7. 返骨関連情報の拡充
8. 医学部全体の意識改革
9. 命日におけるご遺族への遺体状況のお知らせ

負担軽減

マニュアル

意識改革

# 解剖学会からの「提言」

○健全な解剖学教育・研究の継続のために -解剖体取扱い不適切事案の再発防止に向けて-  
日本解剖学会・篤志解剖全国連合会(令和5年2月2日)

[https://www.anatomy.or.jp/file/pdf/2023/230210\\_03.pdf](https://www.anatomy.or.jp/file/pdf/2023/230210_03.pdf)

「提言」

何もしないこと = リスク

1. 解剖学および篤志献体制度に関し深い造詣と経験、高い倫理観を有する解剖学教室教員の確保・採用・育成と処遇の改善
2. 解剖学関係について専門的知識を有する専任の技術職員の適性人数確保と労働環境・処遇の改善、技術継承への配慮
3. 解剖学教室教員と技術職員、部局事務との連携体制の再確認と強化
4. 解剖関連業務の移譲・委託による解剖学教室の負担軽減の検討

JACME審査項目

次は本学

○解剖学教室の技術職員における現状と課題についてのアンケート調査報告書

日本解剖学会 解剖体委員会・認定解剖組織技術者資格審査委員会・教育委員会(令和2年3月)

[https://www.anatomy.or.jp/file/pdf/guideline/investigation\\_report\\_202003.pdf?230203](https://www.anatomy.or.jp/file/pdf/guideline/investigation_report_202003.pdf?230203)

・技術職員

雇用体系9割が常勤、常勤2名以上が6割以上 → 平均的には「常勤2名以上」

7割の大学で技術職員対象の特別手当支給 → 「特別手当支給なし = 技術職員への待遇が悪い」

・業務委託(献体関連業務等)

7割の大学で学外業務委託あり → 特に引き取り・搬送業務の外部委託

# 個人識別等の具体例

○ステンレスタグ  
(火葬後も視認可能)



ステンレスタグ

<https://www.esco-net.com/wcs/escort/ed/detail?hHinCd=EA591HE-25>

刻印セット

<https://www.monotaro.com/p/0838/5596/>



○バンド



識別バンド

<https://axel.as-1.co.jp/asone/d/0-7393-04/?q=0-7393-04>

○指差確認



中災防のステッカー



<https://www.amazon.co.jp/dp/B01K1BHIXO>

# 解剖学教室が取り扱う「情報」

## ○系統解剖学

### ▪ ご遺体の情報

管理番号(遺体・脳)、氏名、性別、年齢、死因、(病歴)、  
搬送日時、返還予定日あるいは納骨、返還・納骨希望の別、  
使途に関する生前同意内容、火葬日、返還日・納骨日

## ○使途、組織採取の有無等

### ▪ 使途

単独/複数使途、使用期間

### ▪ 組織採取

採取の有無、採取臓器・部位、保管先、保管期間、廃棄方法、廃棄日

## ○解剖学的研究、《CST、臨床研究》

### ▪ 研修・研究の情報

研修・研究代表者、《指導監督者、実務担当教員、実務担当事務員》、  
研修・研究計画書、倫理審査申請書、情報公開用文書(オプトアウト用)  
《参加者リスト(スタッフ・受講者・見学者・出入り業者等)、受講料徴収》、成果物、  
《費用的側面： 購入物品・価格、レンタル物品・価格、講師招聘謝金・旅費》、  
利益相反： 企業との利益相反状況(人的・物的・金銭的補助)、《受講料徴収》

# 解剖学教室が取り扱う「情報」

## ○系統解剖学

### ・ご遺体の情報

管理番号(遺体・脳)、氏名、性別、年齢、死因、(病歴)、  
搬送日時、返還予定日あるいは納骨、返還・納骨希望の別、  
**使途に関する生前同意内容**、火葬日、返還日・納骨日

## ○使途、組織採取の有無等

### ・使途

単独/複数使途、使用期間

### ・組織採取

採取の有無、採取臓器・部位、保管先、保管期間、廃棄方法、廃棄日

## ○解剖学的研究、《CST、臨床研究》

### ・研修・研究の情報

研修・研究代表者、《指導監督者、実務担当教員、実務担当事務員》、  
研修・研究計画書、倫理審査申請書、情報公開用文書(オプトアウト用)  
《参加者リスト(スタッフ・受講者・見学者・出入り業者等)、受講料徴収》、成果物、  
《費用的側面： 購入物品・価格、レンタル物品・価格、講師招聘謝金・旅費》、  
利益相反： 企業との利益相反状況(人的・物的・金銭的補助)、《受講料徴収》

# 死体解剖保存法・献体法

## ○死体解剖保存法

<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=324AC0000000204>

第七条 死体の解剖をしようとする者は、その遺族の承諾を受けなければならない。

## ○献体法（医学及び歯学の教育のための献体に関する法律）

[https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=358AC1000000056\\_20150801\\_000000000000000](https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=358AC1000000056_20150801_000000000000000)

第三条 献体の意志は、尊重されなければならない。

第四条 死亡した者が献体の意志を書面により表示しており、かつ、次の各号のいずれかに該当する場合においては、その正常解剖を行おうとする者は、死体解剖保存法第七条本文の規定にかかわらず、遺族の承諾を受けることを要しない。

一 当該正常解剖を行おうとする者の属する医学又は歯学に関する大学（大学の学部を含む。）の長（以下「学校長」という。）が、死亡した者が献体の意思を書面により表示している旨を遺族に告知し、遺族がその解剖を拒まない場合

二 死亡した者に遺族がない場合

→ 献体法の理念（第三条）を鑑みると、

ご遺族に「系統解剖のみ」か「系統解剖あるいはCST」かを選んでいただくというよりは、可能な限り、献体登録者の意志を反映させる方向性を模索すべきではないか

# 解剖学教室が取り扱う「情報」

## ○系統解剖学

### ・ご遺体の情報

管理番号(遺体・脳)、氏名、性別、年齢、死因、(病歴)、  
搬送日時、返還予定日あるいは納骨、返還・納骨希望の別、  
**使途に関する生前同意内容**、火葬日、返還日・納骨日

## ○使途、組織採取の有無等

### ・使途

単独/複数使途、使用期間

### ・組織採取

採取の有無、採取臓器・部位、保管先、保管期間、廃棄方法、廃棄日

## ○解剖学的研究、《CST、臨床研究》

### ・研修・研究の情報

研修・研究代表者、《指導監督者、実務担当教員、実務担当事務員》、  
研修・研究計画書、倫理審査申請書、情報公開用文書(オプトアウト用)  
《参加者リスト(スタッフ・受講者・見学者・出入り業者等)、受講料徴収》、成果物、  
《費用的側面： 購入物品・価格、レンタル物品・価格、講師招聘謝金・旅費》、  
利益相反： 企業との利益相反状況(人的・物的・金銭的補助)、《受講料徴収》

# 解剖学教室が取り扱う「情報」

## ○系統解剖学

### 事務との連携・情報共有

#### ・ご遺体の情報

管理番号(遺体・脳)、氏名、性別、年齢、死因、(病歴)、  
搬送日時、返還予定日あるいは納骨、返還・納骨希望の別、  
用途に関する生前同意内容、火葬日、返還日・納骨日

どうやって？

クラウド

## ○用途、組織採取の有無等

#### ・用途

単独/複数用途、使用期間

#### ・組織採取

採取の有無、採取臓器・部位、保管先、保管期間、廃棄方法、廃棄日

## ○解剖学的研究、《CST、臨床研究》

#### ・研修・研究の情報

研修・研究代表者、《指導監督者、実務担当教員、実務担当事務員》、  
研修・研究計画書、倫理審査申請書、情報公開用文書(オプトアウト用)  
《参加者リスト(スタッフ・受講者・見学者・出入り業者等)、受講料徴収》、成果物、  
《費用的側面： 購入物品・価格、レンタル物品・価格、講師招聘謝金・旅費》、  
利益相反： 企業との利益相反状況(人的・物的・金銭的補助)、《受講料徴収》

# クラウドストレージのセキュリティは大丈夫か？

## ○メーカー側の主張

- ・クラウドサービス提供会社のYouTube

<https://www.youtube.com/watch?v=TTFX6KH4Wc0>

→「ほとんどの事故がユーザーの設定ミスによるもの」

## ○OneDriveのセキュリティインシデント例

- ・ Microsoft Copilotに聞いてみた

→「OneDriveを安全に使用するための方法」しか教えてくれない！

- ・ Google Geminiに聞いてみた

2021年3月 Microsoft Exchange Serverの脆弱性を悪用した攻撃(数万人に影響)  
ユーザー名、パスワード、メールアドレス、OneDriveファイル

2021年5月 OneDrive for Business APIの脆弱性を悪用した攻撃(数千人に影響)  
ユーザー名、パスワード、認証トークン、OneDriveファイル

2022年3月 Microsoft Azureの脆弱性を悪用した攻撃(数十万人に影響)  
ユーザー名、パスワード、メールアドレス、OneDriveファイル

2022年7月 OneDrive for Androidの脆弱性を悪用した攻撃(数千人に影響)  
ユーザー名、パスワード、認証トークン、OneDriveファイル

→ファイルが奪われる例もあるようだ...

# クラウドを使うなら、どうすべきか？

## ○アップロードするファイル自体の設定

### ・パスワード設定

読み取りパスワード、書き込みパスワード

※ Excelファイルは必ずアップロード前にパスワード設定を！

### ここでの前提

- ・ OneDriveを利用
- ・ 同組織内での運用
- ・ 双方ともOneDriveにログイン済

## ○サーバ上のファイルのアクセス権限設定

### ・アクセス権限

「編集可能」、「表示可能」、「ダウンロードできません」

「直接アクセス権」

## ○ファイルリンクおよびファイルURLの取り扱い

### ・リンク

発行されているリンクは、本当に意図したファイル権限を反映しているか？？

→ OneDriveでは基本的にリンクは作らない・渡さない

### ・ファイル

「直接アクセス権」を付与し、URLをコピーして渡す

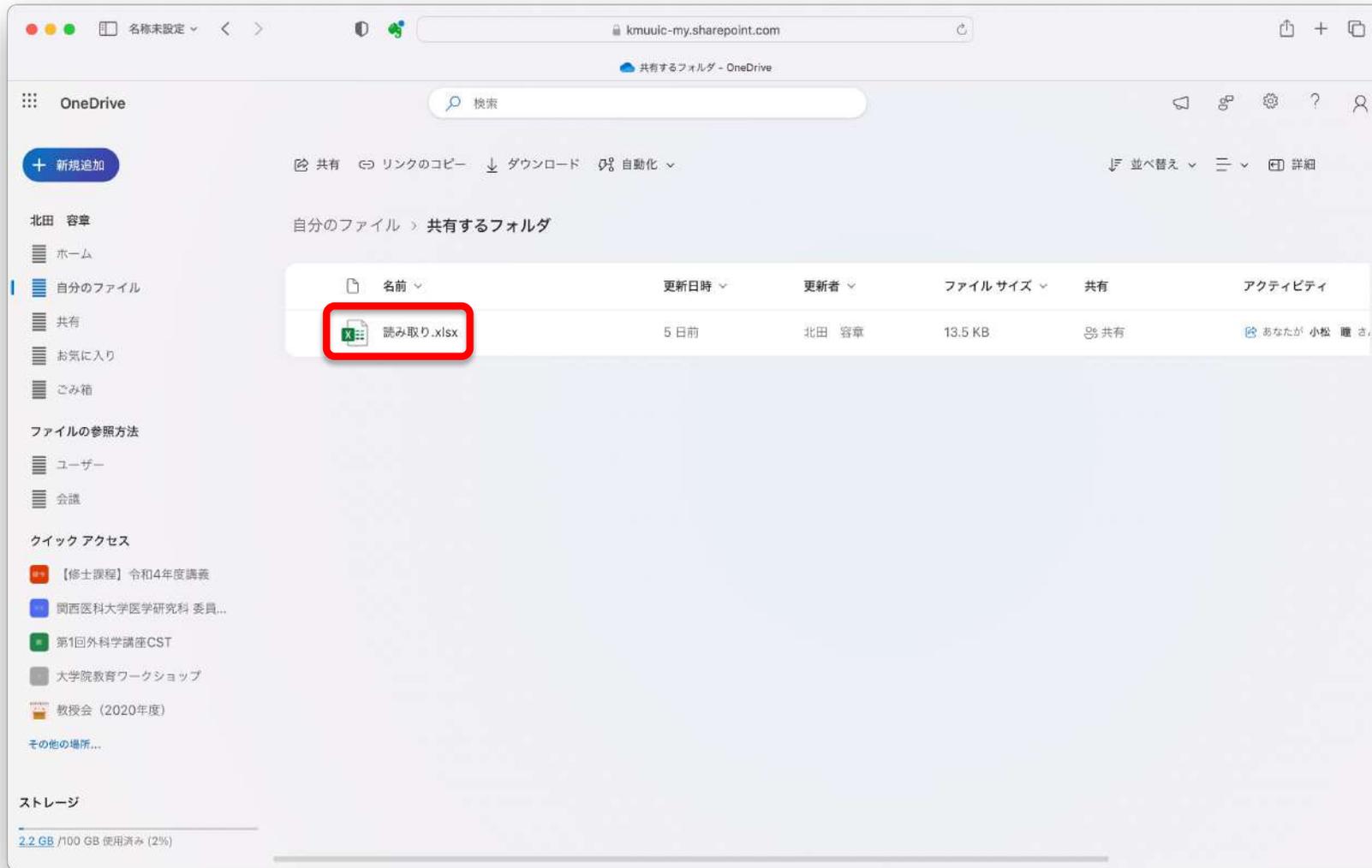
## ○クラウドファイルのローカルドライブへの定期的なバックアップ

### ・バックアップのタイミング – 少なくとも1日の作業終了時

### ・ファイルの命名法 – 末尾に「-2403231045北田」等を付与

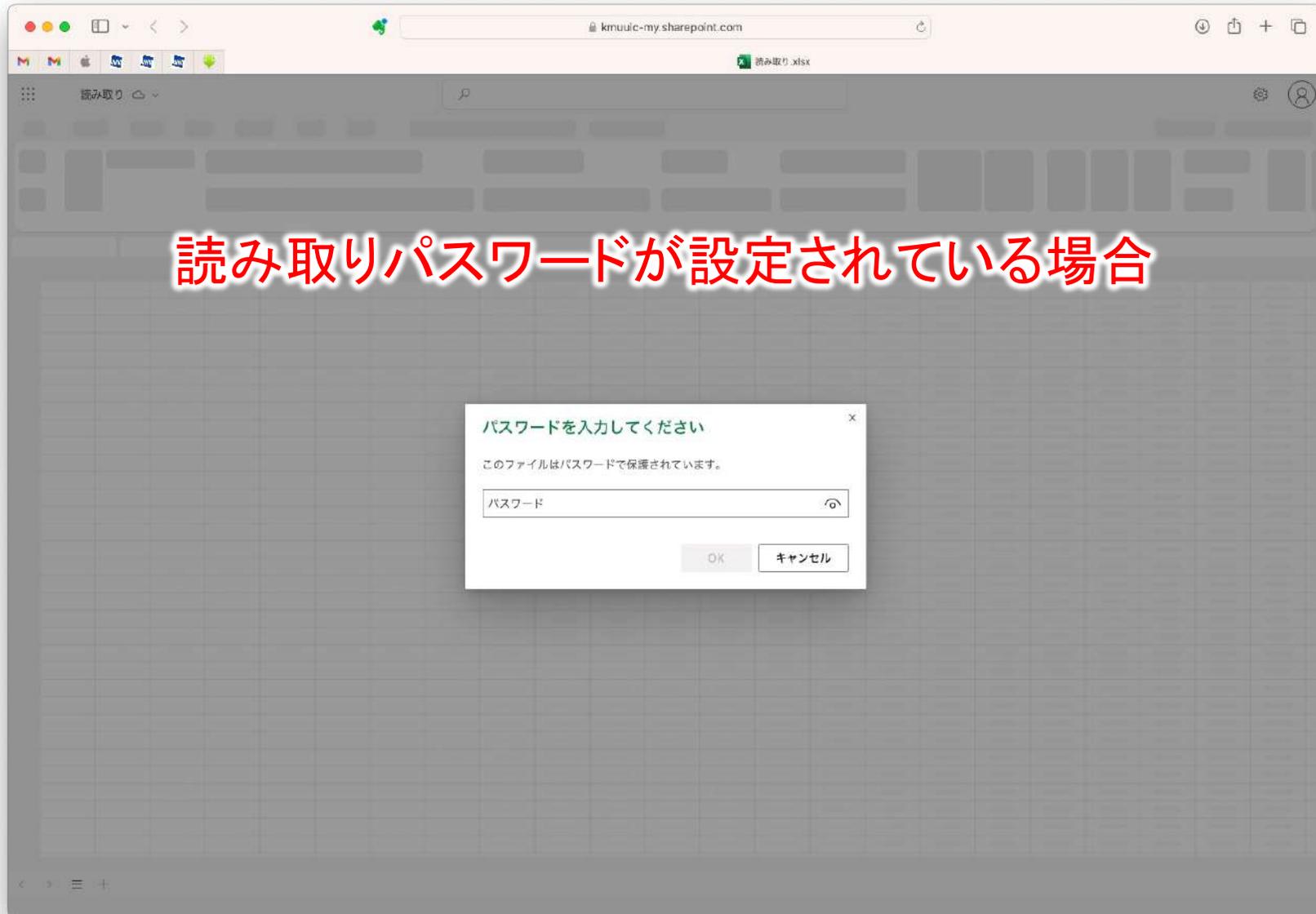
# 大事なファイルはアップロードする前にパスワード設定を

○OneDrive上にアップロードする前に、Excelファイルにパスワードを設定する



# 大事なファイルはアップロードする前にパスワード設定を

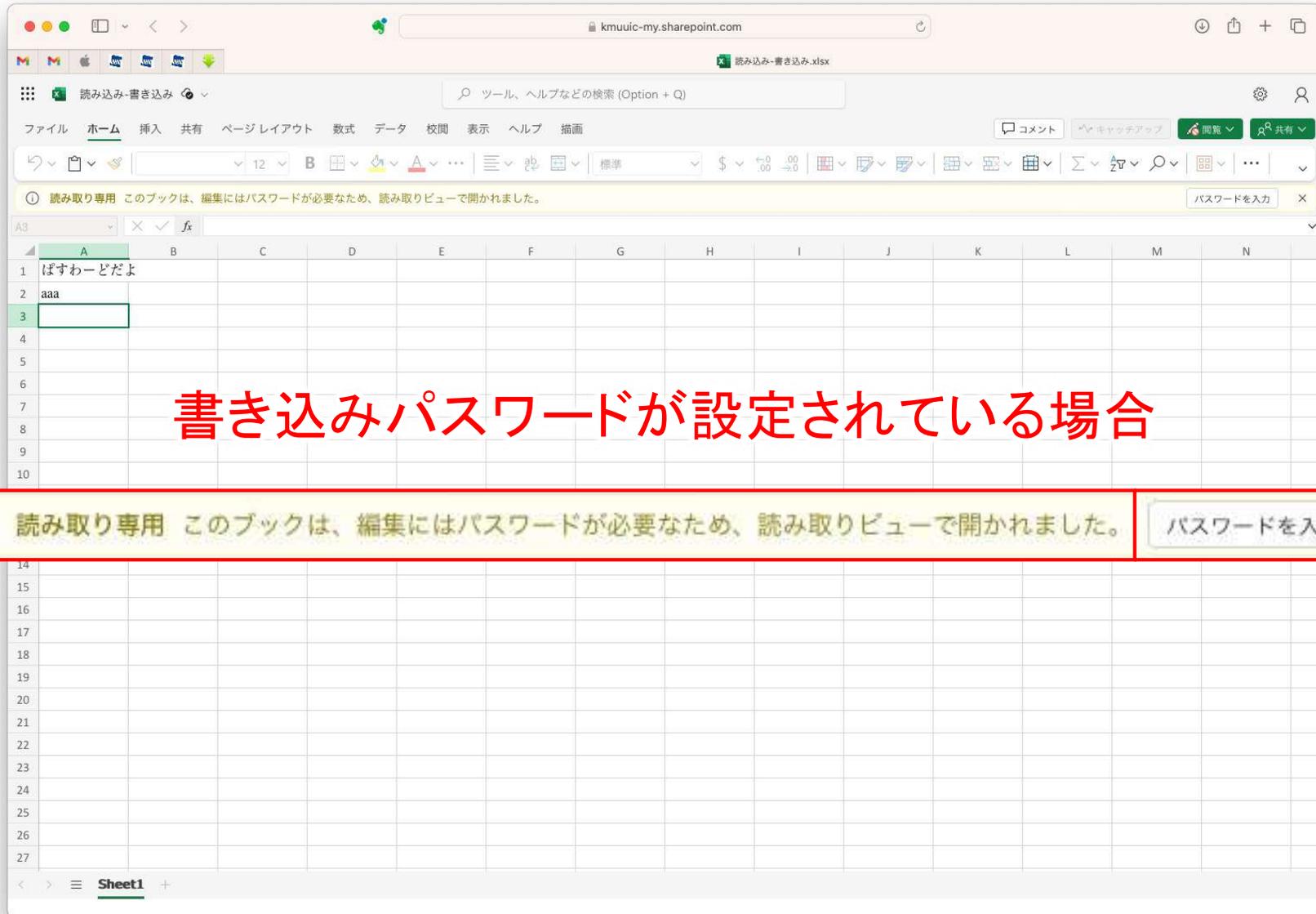
○OneDrive上にアップロードする前に、Excelファイルにパスワードを設定する



読み取りパスワードが設定されている場合

# 大事なファイルはアップロードする前にパスワード設定を

○OneDrive上にアップロードする前に、Excelファイルにパスワードを設定する



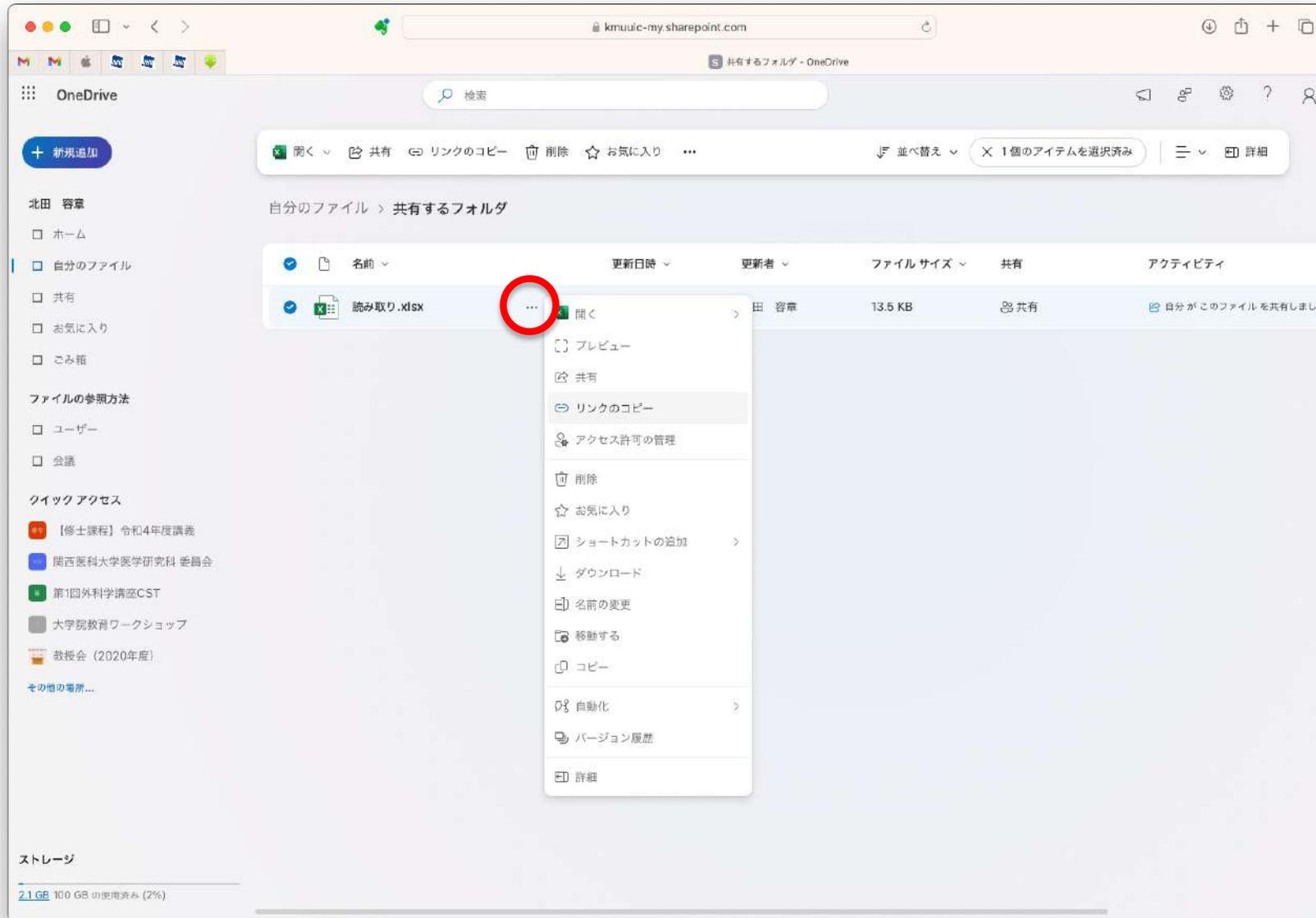
書き込みパスワードが設定されている場合

① 読み取り専用 このブックは、編集にはパスワードが必要なため、読み取りビューで開かれました。

パスワードを入力

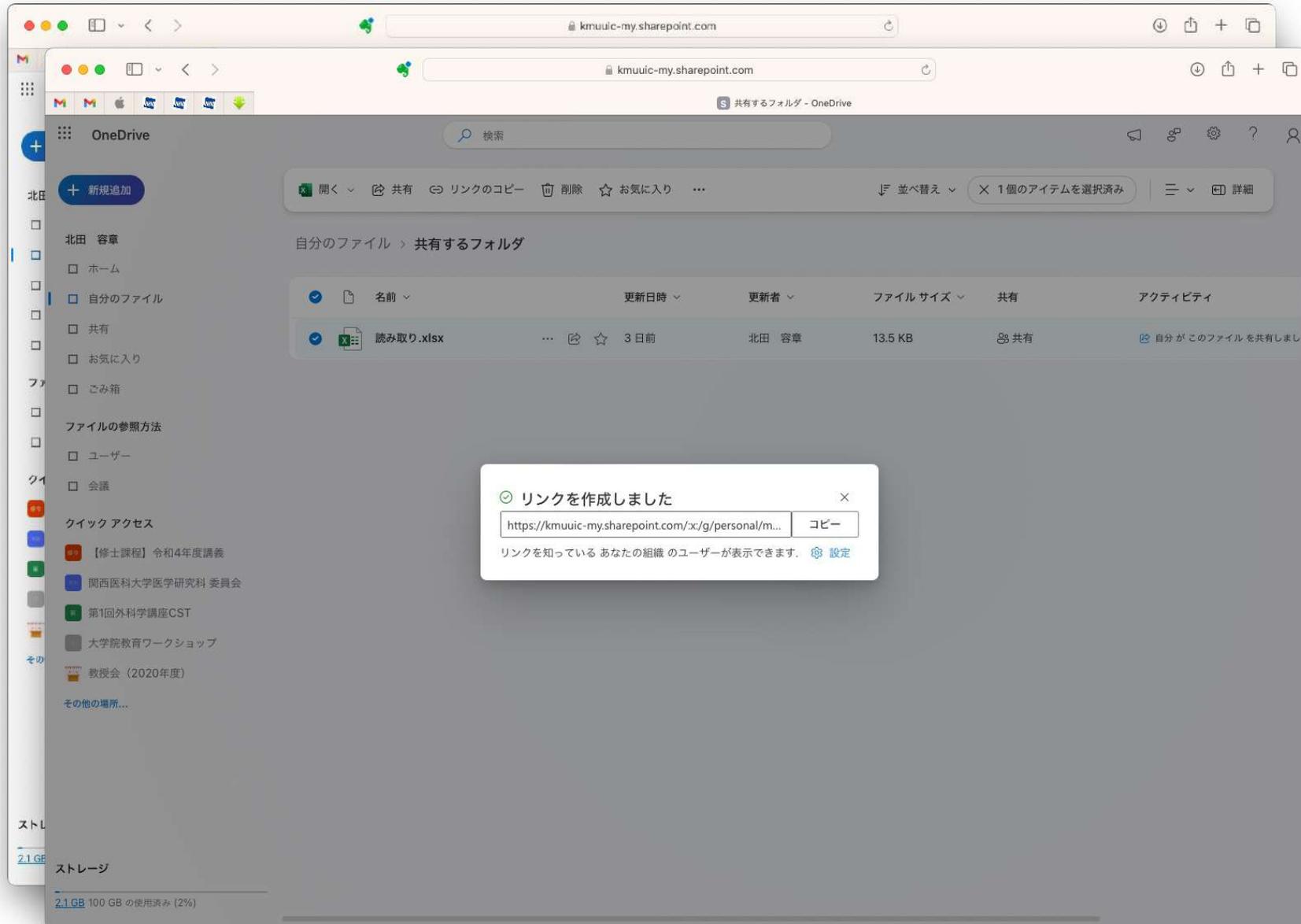
# OneDriveでは「リンクの作成と配布」はやめた方がいい1

## ○OneDrive上でのリンク作成(組織内ユーザー用)



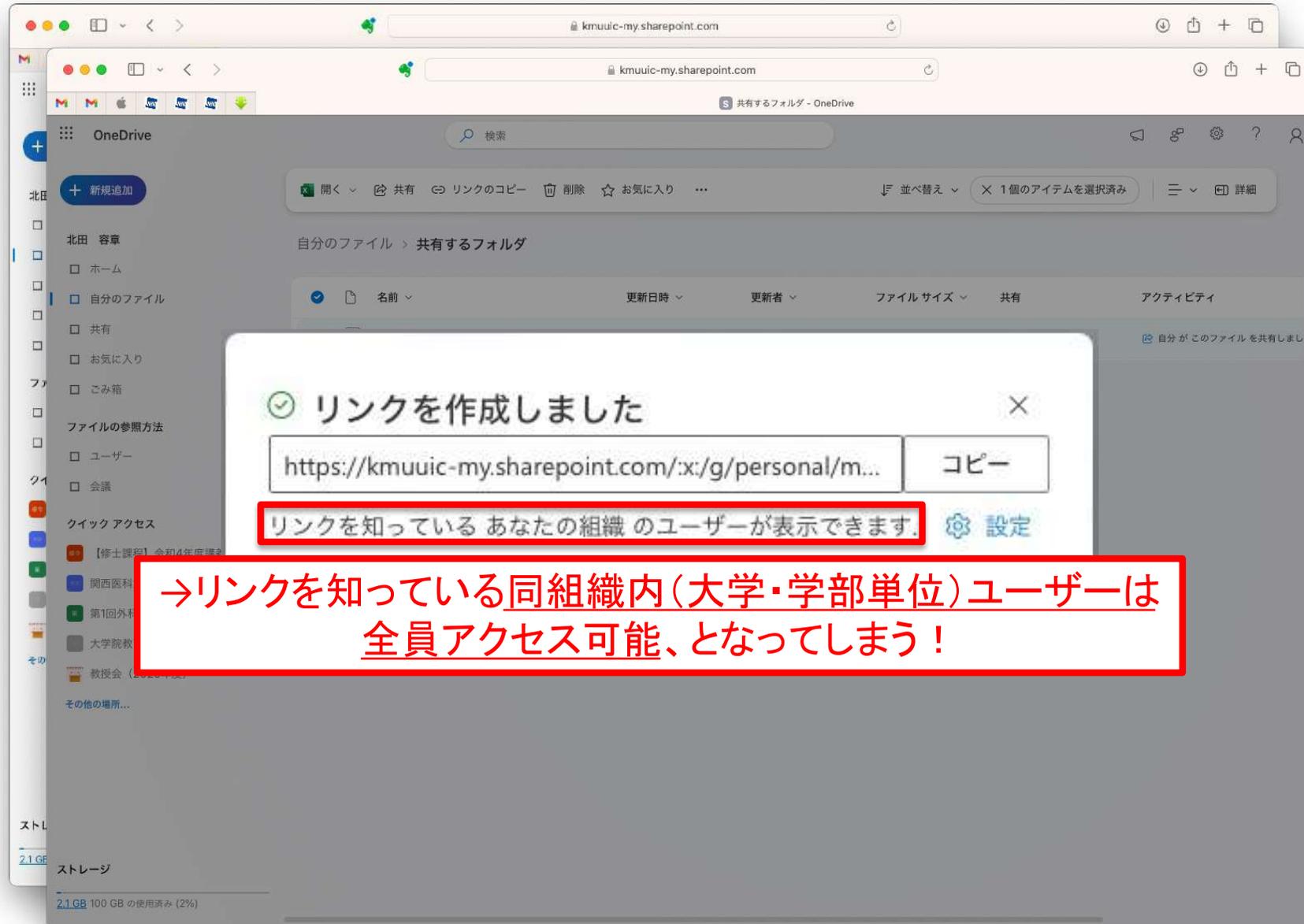
# OneDriveでは「リンクの作成と配布」はやめた方がいい1

## ○OneDrive上でのリンク作成(組織内ユーザー用)



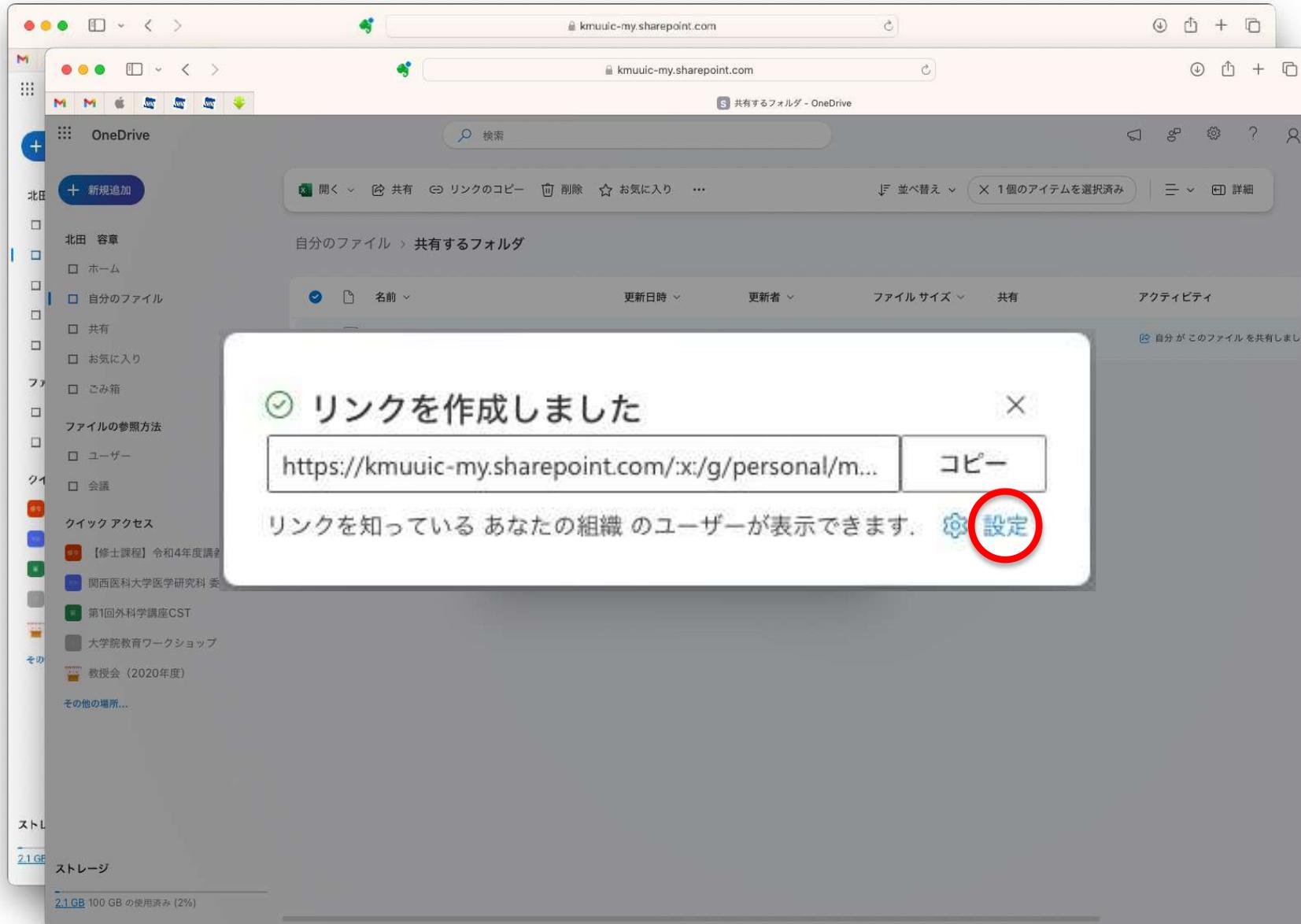
# OneDriveでは「リンクの作成と配布」はやめた方がいい1

## ○OneDrive上でのリンク作成(組織内ユーザー用)



# OneDriveでは「リンクの作成と配布」はやめた方がいい2

## ○OneDrive上でのリンク作成(特定ユーザー用)



# OneDriveでは「リンクの作成と配布」はやめた方がいい2

## ○OneDrive上でのリンク作成(特定ユーザー用)



このリンクを同組織内の別ユーザーに転送し  
リンクを踏んでもらうと...

# OneDriveでは「リンクの作成と配布」はやめた方がいい2

## ○OneDrive上でのリンク作成(特定ユーザー用、ところが...)

1回目のアクセス時

2回目のアクセス時

3回目のアクセス時

申し訳ございません、アクセス許可がありません。

アクセスを希望します。

アクセスを要求

# OneDriveでは「リンクの作成と配布」はやめた方がいい2

## ○OneDrive上でのリンク作成(特定ユーザー用、ところが...)

1回目のアクセス時

申し訳ございません、アクセス許可がありません。

アクセスを希望します。

アクセスを要求

# OneDriveでは「リンクの作成と配布」はやめた方がいい2

○OneDrive上でのリンク作成(特定ユーザー用、ところが...)

1回

2回目のアクセス時

Microsoft

もう少しで完了です

セキュリティで保護されたリンクを受信しました:

読み取り-大江先生のみ.xlsx

申し訳ございません。このリンクの対象ユーザーではありません。ただし、アイテムへのアクセス権をすでにお持ちのようです。

[続行] をクリックしてアイテムを表示してください。

続行

→アクセス可能となってしまう事例あり

OneDriveでのリンク運用は、おすすめしません

# OneDriveでは「直接アクセス権」の付与が良い

○OneDrive上での共有停止の方法(リンクも削除される)

アクセス許可を管理

読み取り.xlsx

共有

共有停止

ユーザー・2 グループ リンク・2

表示名の検索

北田 容章 教職員 所有者

大江 総一 教職員 編集可能

共有を停止しますか?

このアイテムの所有者のみが引き続きアクセスできます。

共有停止 キャンセル

アクセス許可を管理

読み取り.xlsx

共有

共有

ユーザー・1 グループ リンク

北田 容章 教職員 所有者

このファイルはまだ誰も共有されていません。

共有を開始

# OneDriveでは「直接アクセス権」の付与が良い

## ○OneDrive上での直接アクセス権の付与

アクセス許可を管理

読み取り.xlsx

共有

ユーザー・1 グループ リンク

北田 容章 教職員 所有者

このファイルはまだ誰も共有されていません。

共有を開始

アクセス許可を付与

アクセスを許可

大江 総一

別のユーザーの追加

ユーザーに通知する

アクセスを許可

このユーザーがアクセスできる方法

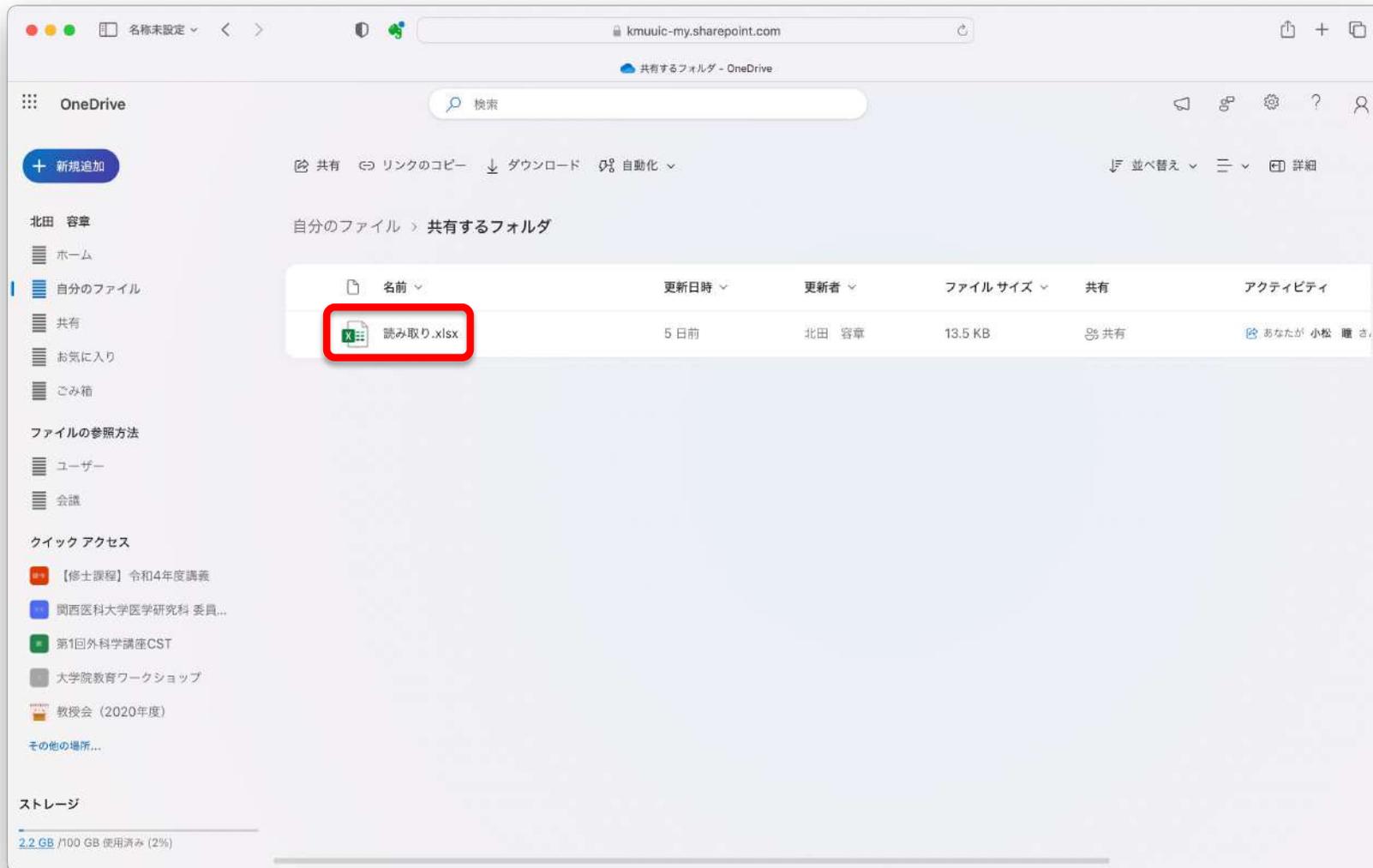
直接アクセス権: 編集可能

適用 キャンセル

ここまでしてから

# OneDriveでは「直接アクセス権」の付与が良い

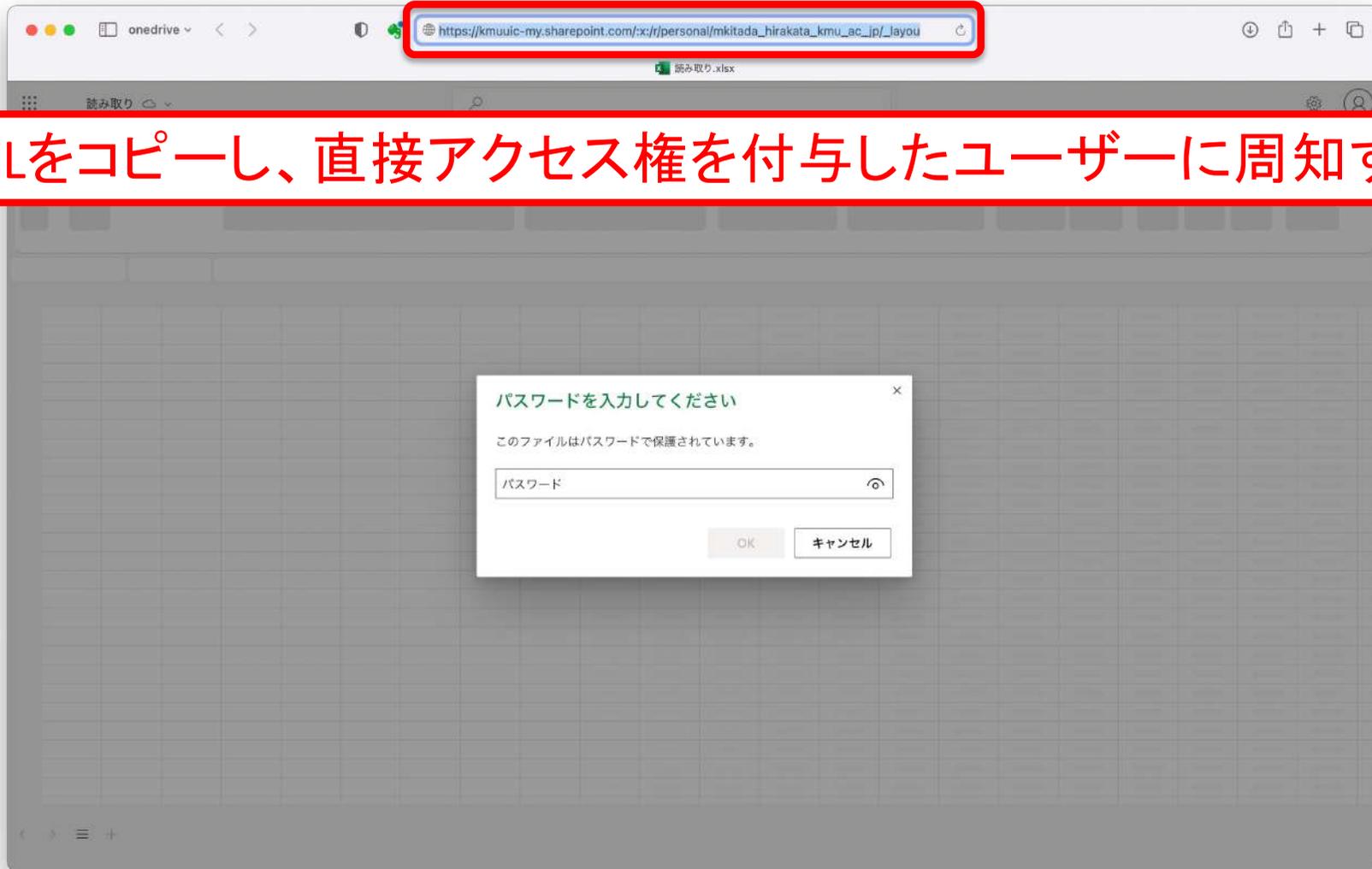
## ○OneDrive上での直接アクセス権の付与



# OneDriveでは「直接アクセス権」の付与が良い

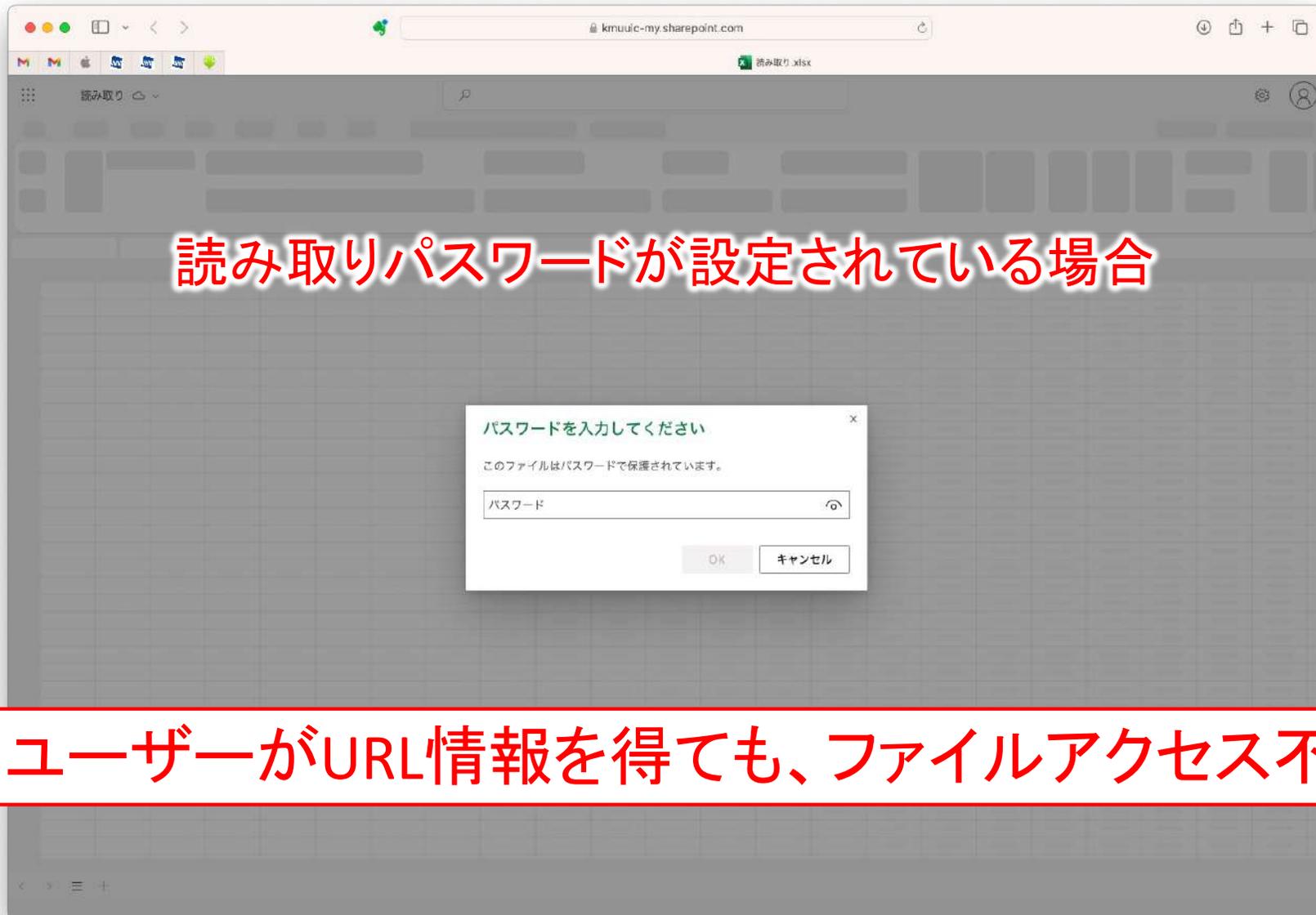
## ○OneDrive上での直接アクセス権の付与

URLをコピーし、直接アクセス権を付与したユーザーに周知する



# OneDriveでは「直接アクセス権」の付与が良い

○OneDrive上での直接アクセス権の付与 → URLのコピペ



読み取りパスワードが設定されている場合

別のユーザーがURL情報を得ても、ファイルアクセス不可

# 解剖学教室が取り扱う「情報」

## ○系統解剖学

### 事務との連携・情報共有

#### ・ご遺体の情報

管理番号(遺体・脳)、氏名、性別、年齢、死因、(病歴)、  
搬送日時、返還予定日あるいは納骨、返還・納骨希望の別、  
用途に関する生前同意内容、火葬日、返還日・納骨日

どうやって？

クラウド

## ○用途、組織採取の有無等

#### ・用途

単独/複数用途、使用期間

#### ・組織採取

採取の有無、採取臓器・部位、保管先、保管期間、廃棄方法、廃棄日

## ○解剖学的研究、《CST、臨床研究》

#### ・研修・研究の情報

研修・研究代表者、《指導監督者、実務担当教員、実務担当事務員》、  
研修・研究計画書、倫理審査申請書、情報公開用文書(オプトアウト用)  
《参加者リスト(スタッフ・受講者・見学者・出入り業者等)、受講料徴収》、成果物、  
《費用的側面： 購入物品・価格、レンタル物品・価格、講師招聘謝金・旅費》、  
利益相反： 企業との利益相反状況(人的・物的・金銭的補助)、《受講料徴収》

# 解剖学教室が取り扱う「情報」

## ○系統解剖学

### ・ご遺体の情報

管理番号(遺体・脳)、氏名、性別、年齢、死因、(病歴)、  
搬送日時、返還予定日あるいは納骨、返還・納骨希望の別、  
使途に関する生前同意内容、火葬日、返還日・納骨日

## ○使途、組織採取の有無等

### ・使途

単独/複数使途、使用期間

### ・組織採取

採取の有無、採取臓器・部位、保管先、保管期間、廃棄方法、廃棄日

## ○解剖学的研究、《CST、臨床研究》

### ・研修・研究の情報

研修・研究代表者、《指導監督者、実務担当教員、実務担当事務員》、  
研修・研究計画書、倫理審査申請書、**情報公開用文書(オプトアウト用)**  
《参加者リスト(スタッフ・受講者・見学者・出入り業者等)、受講料徴収》、成果物、  
《費用的側面： 購入物品・価格、レンタル物品・価格、講師招聘謝金・旅費》、  
利益相反： 企業との利益相反状況(人的・物的・金銭的補助)、《受講料徴収》

# 献体登録者にご遺族への意志確認

---

## ○意志確認のタイミング

### 献体登録者

#### 1. 献体登録時

(系統解剖・CST)

### ご家族/ご遺族

#### 1. (献体登録時)

2. ご遺体引き取り時(系統解剖・CST)

# 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針

## ○最近の施行・改正状況と改正点

[https://www.lifescience.mext.go.jp/bioethics/seimeikagaku\\_igaku.html](https://www.lifescience.mext.go.jp/bioethics/seimeikagaku_igaku.html)

### ・ 施行・改正状況

令和3年3月23日(施行) → 令和4年3月10日(一部改正) → 令和5年3月27日(一部改正)

### ・ 改正点(解剖学研究やCSTに係る部分)

「死者に係る情報」や「死者の試料・情報の取扱い」の項に関する度重なる追加・修正がなされている

## ○同指針「令和5年改正について(文部科学省・厚生労働省・経済産業省)」文書

<https://www.mhlw.go.jp/content/001087960.pdf>

### ・ インフォームド・コンセント等手続の見直し(上記文書5ページ)

同意を受ける時点で特定されなかった研究の既存試料・情報の提供に係る手続

→ 包括的に同意を受けた既存試料・情報を用いて研究を実施する場合、

その後、包括同意を受けた範囲内における研究の内容・提供先等が特定されたときは、

当該研究の内容に係る研究計画書の作成又は変更を行い、

オプトアウト手続を実施することを条件に、提供を可能とする

# 献体登録者のご遺族への意志確認

## ○意志確認のタイミング

### 献体登録者

#### 1. 献体登録時

(系統解剖・CST)

### ご家族/ご遺族

#### 1. (献体登録時)

2. ご遺体引き取り時(系統解剖・CST)

3. CST実施前(倫理審査申請前～)

#### 2. ご遺体引き取り時(系統解剖・CST):

系統解剖、解剖学研究、CST等々に用います(内容未定)という「包括同意」

#### 3. CST実施前(倫理審査申請前～):

個別の用途に対する「オプトアウト」の機会の提供

## オプトアウトって??

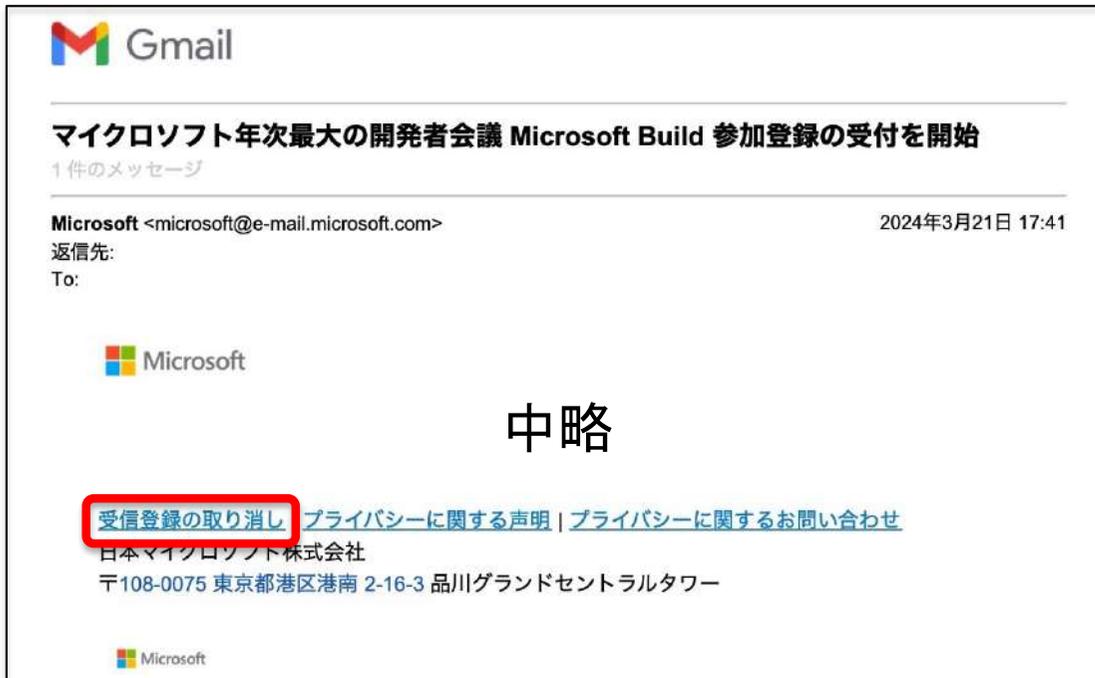
# オプトアウト？

## ○ITの場合

1. オプトイン – 許可済宛先にメール送信
2. オプトアウト – 受信拒否の機会を提供
3. スпам – 送りつけるだけ、受信拒否できない  
特定電子メール法違反(罰則有)



<https://xtech.nikkei.com/it/article/Keyword/20080729/311680/>



# オプトアウト？

## ○ITの場合

1. オプトイン – 許可済宛先にメール送信
2. オプトアウト – 受信拒否の機会を提供
3. スпам – 送りつけるだけ、受信拒否できない  
特定電子メール法違反(罰則有)



<https://xtech.nikkei.com/it/article/Keyword/20080729/311680/>

## ○医学系研究の場合

1. オプトイン – 試料を研究に用いることについて、個別に連絡を取り、個別に許可を得る
2. オプトアウト – 広く情報公開(ホームページにて「情報公開用文書」を掲載する等)を行い、  
試料を研究に用いることについて拒否する機会を設ける  
個別に連絡を取ることはしなくて良い

→ 死者由来の試料(ご遺体)の場合、ご遺族へのオプトアウト機会提供が必要

# 情報公開用文書

## ○情報公開用文書の例

第1版（2022年10月28日作成）

### 臨床研究に関する情報

本学では、以下の研究（教育・研修）を実施しております。この研究は、亡くなられて献体していただいたご遺体を用いて行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この研究は倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や献体者個人の権利が守られていることが確認され、本学学長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 献体されたご遺体を用いた手術手技向上のための超音波診断技術および色素注入技術の研究

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学医学部・解剖学講座 教授 北田 容章

《研究の目的》本研究では、亡くなられた関西医科大学白菊会会員より献体されたご遺体を用い、手術手技研修に係る基盤的な研究を行い、地域医療の安全向上と先端医療の普及を図ることを目的としています。

《研究期間》研究許可日～2027年3月31日

《研究の方法》

- 対象 関西医科大学白菊会会員より献体されたご遺体
- 研究に用いる試料・情報の種類

故白菊会会員より献体されたご遺体を用います。生前同意によりご遺体の用途は解剖学の教育（学生を対象とした教育）・研究に加え、臨床教育（手術手技研修等）・研究とされています。

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・情報等の取扱い》

お預かりしたご遺体は、仮名加工により個人の氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源 **利益相反について**

この研究は外部機関からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

\*上記の研究にご遺体を用いることをご了解いただけない白菊会会員、およびそのご家族・ご遺族は、以下にご連絡ください。

**《問い合わせ先》**

関西医科大学医学部 臨床解剖教育研究センター 副センター長 中野洋輔  
〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1 電話：072-804-0101（内線2304）

<https://green.kmu.ac.jp/research/eic/rer/cr/fom/laaes7000000cont-att/2022197.pdf>

## 個別の研究について

**研究の概要**（研究課題名・責任者名、研究の目的・期間・方法、**利益相反に関する情報等**）と**問合せ先を公開し、ご遺族へ「当該研究・研修への遺体使用の辞退」についての機会を提供**

→ 今後は、CSTおよび解剖学研究でもオプアウトの機会提供が必要

# 解剖学教室が取り扱う「情報」

## ○系統解剖学

### ・ご遺体の情報

管理番号(遺体・脳)、氏名、性別、年齢、死因、(病歴)、  
搬送日時、返還予定日あるいは納骨、返還・納骨希望の別、  
使途に関する生前同意内容、火葬日、返還日・納骨日

## ○使途、組織採取の有無等

### ・使途

単独/複数使途、使用期間

### ・組織採取

採取の有無、採取臓器・部位、保管先、保管期間、廃棄方法、廃棄日

## ○解剖学的研究、《CST、臨床研究》

### ・研修・研究の情報

研修・研究代表者、《指導監督者、実務担当教員、実務担当事務員》、  
研修・研究計画書、倫理審査申請書、**情報公開用文書(オプトアウト用)**  
《参加者リスト(スタッフ・受講者・見学者・出入り業者等)、受講料徴収》、成果物、  
《費用的側面： 購入物品・価格、レンタル物品・価格、講師招聘謝金・旅費》、  
利益相反： 企業との利益相反状況(人的・物的・金銭的補助)、《受講料徴収》

# 解剖学教室が取り扱う「情報」

## ○系統解剖学

### ・ご遺体の情報

管理番号(遺体・脳)、氏名、性別、年齢、死因、(病歴)、  
搬送日時、返還予定日あるいは納骨、返還・納骨希望の別、  
使途に関する生前同意内容、火葬日、返還日・納骨日

## ○使途、組織採取の有無等

### ・使途

単独/複数使途、使用期間

### ・組織採取

採取の有無、採取臓器・部位、保管先、保管期間、廃棄方法、廃棄日

## ○解剖学的研究、《CST、臨床研究》

### ・研修・研究の情報

研修・研究代表者、《指導監督者、実務担当教員、実務担当事務員》、

研修・研究計画書、倫理審査申請書、情報公開用文書(オプトアウト用)

《参加者リスト(スタッフ・受講者・見学者・出入り業者等)、受講料徴収》、**成果物**

《費用的側面： 購入物品・価格、レンタル物品・価格、講師招聘謝金・旅費》、

利益相反： 企業との利益相反状況(人的・物的・金銭的補助)、《受講料徴収》

# 成果物の取り扱い

---

○CSTや解剖学研究における成果物とその取り扱い

・映像(動画、写真等)

※学会や市民公開講座での使用の場合

→ 解剖学講座が管理し、用途による映像情報の吟味が必要

個人の特定につながる部位や局部にモザイクを入れる等の措置が必要

(本シンポジウムの千葉大学・鈴木崇根先生のご講演内容)

# まとめ

---

○解剖学教室は、ご遺体とその情報を管理する義務がある

・適切な情報管理により、不祥事の発生を防止する

→ 複数による管理体制、マニュアル・チェックリストの作成、意識改革

○クラウドによる情報共有時は、適切な管理が必要

・クラウドに乗せる前に、読み込みパスワード設定をかける

・OneDriveでは、特定ユーザーへの直接アクセス権設定後、URLを周知する

○CSTや解剖学研究の倫理審査にはご遺族への遺体使用辞退の機会提供

・情報公開用文書のホームページへの掲載等による“オプトアウト”の機会の提供

○成果物としての映像(動画・写真)の管理が必要

・個人の特定が可能な部位や局部へのモザイク処理等

ご静聴いただきましてありがとうございました

関西医科大学 北田 容章